

平成 22 年度 大学生の力を活用した集落活性化事業 報告書

テーマ

~多くの方に笥平を知ってもらおう~



(11月3日 篠笛コンサート&芋煮会での参加者全員での記念撮影)

2011年3月

いわき明星大学 鎌田ゼミ

「大学生の力を活用した集落活性化事業」報告書

・今期における活動内容

テーマ

「多くの方に簞平を知ってもらう」

イベントを通じ、多くの方に簞平を知ってもらう事を目標にし、活動を行いました。
活動スケジュールは以下の通りである。

- 4月 あけぼのつつじの観賞会と大自然の中のBBQ会
- 9月 学園祭での簞平PRブース設置展示
- 11月 延命地蔵志乃笛コンサート&大自然の芋煮会集落活性化事業
- 12月 池袋 サンシャイン 福島県物産展にて大学生ブース内に簞平PRブース設置
- 2月 親子丸太切り体験と羽賀井画伯絵画展示(簞平周辺風景画)鑑賞会

今期の活動は、活性化をする上での、土台作りを目的としている事業を展開した。
まずは、簞平を多くの人に周知していただくため、簞平の自然を体感していただけるような、イベントを企画実施した。また、イベントを通じ、自分達自身も簞平の良さを深く体感する事で、今後の簞平の方向性の土台を作り上げていった。

・簞平の現状

今期の活動では、簞平地区は農産物において集落活性化の地場産品出荷は0%に等しい地区である。この背景には、耕作面積が狭く、農産物生産種と収穫量が乏しく自給自足生活に農作物が消化されるため、販売に向けることが非常に厳しいと思われる。また、昨年の発表にある通り、耕作放棄地も0%であり、年金暮らしの住民の皆さんから耕作地を借りることで、耕作地の地主は自給自足での食糧確保が困難になるのである。そのため、土地の利用には非常に難しいものがある。

さらに周囲の豊かな山に自生するキノコ・山菜類については、収穫者の高齢化により急斜面での収穫は困難なことと、販路の確保が困難なことでも実現が難しい。

例え集落活性化事業のために事業予算を投入するにも、集落活性化事業を実施・推進することは非常に困難であると推測できる。また、個々の生活支援のために経済的な支援をしたとしても、スーパーの商品で生活するなどの住民の経済活動は、理に適ってはいない。何故ならば、大自然と自給自足の生活を目的として、住民が簞平を好み生活しているからである。さらに、スーパーでの買い物となると、近くのスーパーまでは、自動車で、20分

以上の移動が必要であり、自家用車を利用出来ない方は週に一度来る町民バスに頼らなくてはならない。さらに、冬季になると、箒平までの道路が凍結により、バスが運休になる事もある。そうになると、地区住民の生活が困難になるのである。

・今後の活性化事業計画

小学生主体の自然体験と昔の暮らし体験プログラムの実施

大学授業プログラム(インターンシップ)との連携災害ボランティア演習による草刈り

今期開催のイベント再実施

地域活性のパネル展実施

間伐材を利用した木工品の展示・販売などの施行

計画の詳細

小学生主体の里山体験プログラムについて

詳細は今後検討

大学授業プログラム内の災害ボランティア演習による草刈り

大学の授業カリキュラムにある、災害ボランティア演習にて、夏季に五社山入口から箒平地区までの区間除草作業をして、車両の通行をしやすいとする。

今期開催イベントを再実施する

リピーターを増やし、箒平の存在を知って頂くためにも、継続する。

また、今期から、広野町町議会議員内において、浅見川保護・活性のためNPO法人が立ち上がったので、そちらと連携を図り、より、興味が湧くようなイベントを実施する。

地域活性のパネル展実施

県内外の無料展示スペースを利用し、事業報告を展示する。

しかし、今後は東日本大震災において、東京電力福島第1・2原子力発電所の事故で広野町自体が自主避難・屋内退避区域にされているため、今期の活動は難しいのが現状である。

今後の原発動向を見つつ、我々が活動できることを模索し続け支援を行いたい。



4月25日
「あけぼのつつじ鑑賞会」にて
山菜の天ぷらの下準備



9月2日
箒平地区集会所において、今年度の実証実験の打ち合わせを区長さんで行う。



10月 いわき明星大学の学園祭にて簿平PRブースを設置



11月3日 延命地蔵篠笛コンサート&芋煮会 実施



篠笛コンサートを鑑賞。町内の住民にも多く参加していただいた。



炭焼きの芋も美味しくいただきました

12月19日 池袋で開催された福島県の大交流フェアにて幕平PRブース設置



立正大学、国士舘大学と共同でブースを設置



テレビのインタビューも受けました

2月27日 親子丸太切り体験と絵画鑑賞会を実施



挨拶する鎌田先生



大学生が手作りの案内板も作成することに



町民の親子にも参加してもらい記念撮影



箒平の風景画に囲まれながらの昼食